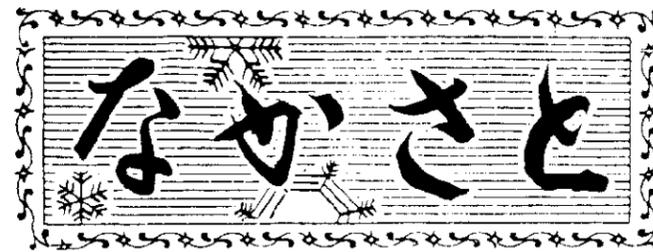


発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回25日
定価 1部 5円



私たちの村

人口	7,269 (-9)
男	3,605 (-6)
女	3,664 (-3)
	1,668 (-1)

12月31日現在



高等学校

定時制・通信制の生徒募集

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制、通信制課程の生徒を次により募集しています。

- ◇募集している学校
 - ※定時制—県内の公立高校31校
 - ※通信制—新潟高校(新潟市開原) 屋上川原町二、高田南城南校(上越市南城南町三)の2校
- ◇応募資格
 - 昭和54年3月に中学校を卒業する見込みの者。中学校若しくはいま日本の子どもたちは、物質的にも恵まれて、一般的に過保護の傾向が強いようです。
 - ナイフで鉛筆をけずれない、風呂に入っても背中を洗えない、危ないからといって自転車には乗らない。本来、子どもは、周囲が口を出さないかぎり、何でもやってみるのが普通です。
 - おとなが見て危ないと思うことで、ところが、いざとなると、周りの「過保護の手」が伸びてくるので何もできない。それが、しだいに「何もなくていい」ということになり、受け身の子どもが育っていく。

◇問い合わせ
※出願手続—出身中学校
※学習内容等—出願する高校
※その他—県教育庁高等学校教育課(新潟市一番堀通町五九二)
四)電話二三一五五二(内線三六六四、三六六五)



報警器の購入は、簡易型火警器のマークをお選び下さい。
製品をお選び下さい。
(社)日本火災報知機工業会簡易器特別部会
(詳しくは十日町地域消防本部へ)

健康な体と豊かな心を

(国際児童年事業推進会議委員) 小野 清子
(元オリンピック体操日本代表)

仕事を持っている私は、半ば放任的に子どもたちを育ててきました。決して、いい母親とはいえないんですが、子どもは親に束縛されない環境の方が、たくましく、伸びかします。

そういう私も、五人の子どもの母親です。長女が高校二年、長男が中学三年、その下は小学四年と幼稚園の女の子、末っ子は四歳の男の子—毎年、だれかが卒業式と入学式をむかえるというにぎやかな時期です。

今年は国際児童年。この機会に世界の子どもたちの置かれている実情をつぶさに見て、日本の子どもたちも自信を待たしました。

児童手当額の改定について

児童手当額が次のように改定されました。昭和五十三年十月分より市町村民税所得割額のない受給者に対して月六千円に増額されることになりました。

尚、所得割額のあるものに対しては月五千円になります。

中里文芸一月投稿

▽短歌
わが身にも吹雪の月日長かりしに
心澄みたる五十路の春
浦井タカ

人生往来

- ▽俳句
めぐり来る月日の早さ年一つ
山本ケサ
- ▽産声
太島 正子 康太郎 芋沢
吉樂 陽介 宏 宮中
関澤 和子 春雄 倉下
大口 純也 道雄 重地
◎高砂
— 新郎 吉樂 正義(三) 上山
— 新婦 山田ハツ子(天) 土倉
◎昇天
滝澤 友重 (七) 田代
小林 房吉 (六) 荒屋
上原留治郎 (六) 上山
藤ノ木秀信 (三) 小出
服部 安治 (三) 如来寺

▼昨年末から続いている暖冬は、まさに「異常」である。
例年ならば一月中旬ころには二M近い積雪があるのが普通なのに今年は一月中旬現在で七八cmだから、例年の約五分の二である。屋根の雪おろしや道ふみの回数が減って来た、楽だと思われよう。だが、このままでは済まないだろう、いつごろから降りだすのだろうかとかえって行く先が不安になってくる。

▼今年の小正月も各地で伝統の鳥追い行事が行なわれたが、暖冬の影響で雪不足。そのためという訳でもないのだから、あちこちで大人が動員されたという話をききました。子供と大人が揃って伝統行事を楽しもうというのにちよっと残念な「小雪」でした。

▼今年も国際児童年。国連で「児童権利宣言」が採択されてから、今年でちょうど二十年。これを記念して、今年を「国際児童年」とすることにしました。

「子供は民族の宝、世界の宝」という考え方にたって児童問題について認識をたかめ、みんなで考えてみようというものです。

村民とともに

明るい豊かな村づくりを

新年お日出度うございます。村民の皆様にはお元気で新年を迎えられたこと同慶に堪えません。本年は暖冬異変で結構な正月でしたが、こんな陽気が長く続けばよいと願っております。

米の再編対策は勿論本年も継続されますし、雇傭不安も解消する見通しも暗いようです。



村長 上村賢造

さて昭和五十四年を迎えまして本年こそよい年であって欲しいと願っておりますが、簡単に不況から脱却する訳にも参らない状況であります。

一方消費者米価は二月より四、五%アップということですし、国鉄運賃、たばこ、ガソリン、はては

年頭の「ごあいさつ」

みんなでもっと

村を大事に

明けましておめでとうございませす。一九七〇年代は激動の年代であり又転換の年代と言われてきましたが、この七〇年代最後の正月を迎えました。



村議会議員 小林豊政

なによりも全村民にとって佳き年であることを願ってやみません。農村にとつての昨年は第三次水田減反に明け減反に暮れたと言っても過言ではありませんでした。幸いにして大した災害もなく米は

さてこの水田転作は政府が本腰で稲以外のものを水田に定着させようとしているとは思われません。

ある事が人々の中に定着するに、人々の納得のゆくものでない

米の過剰など米単作の営農を再検討し、畑作などによる増収を計らなければなりません。苗場山麓の第三地区開発に積極的に参加し、生産基盤の拡大に努めなければなりません。わが村には今後の重要課題が残されておりますが、村民のみな様と協力して豊かな村、住みよい村造りに邁進したいと願っております。皆様健康で、本年がよい年でありますよう、お祈りして年頭の挨拶といたします。

善意をありがとう
○如来寺の服部安二郎さんより故父服部安治さんの香典返しとして金五万円が村の社会福祉協議会に寄付されました。
○中里村農協生産課一同から村の社会福祉事業に役立ててほしいと金八二〇〇円が寄付されました。
○小原の樋口和一さんから故父樋口秀雄さんの香典返しとして村の社会福祉協議会に三万円が寄付されました。

停電のお知らせ
二月七日(木)倉俣の一部と芋川で、午前九時半から午後一時半までの間作業停電します。

何よりの証拠に奨励金を転作物の価格又は数量に対して出すのではなく、面積に対して出している事からも明らかであります。稲以外の作物を将来に亘ってしっかりと定着させようとするならば、収益面や価格面からも稲にか

行に努める所存であります。厳しい一年ではありませんが、少しでも多く政治の光りがあったり、経済不況の風は少しでも少ない事を祈り乍ら皆様幸わせ多かれと祈念申し上げ挨拶いたします。

昭和五十三年度歳末たすけあい募金の実績及び使途について

昭和五十三年度歳末たすけあい募金運動につきましては、皆様のご理解、ご協力により、二五万五千九百九十円の募金が寄せられました。

大変ありがとうございました。本募金については別表の通り活用させていただきますので報告いたします。

尚、赤い羽根共同募金には四八万九千九百六十四円が寄せられました。これは、社会福祉事業費、事務費等として活用させていただきました。

昭和53年度歳末たすけあい募金明細表

収入		支出	
分類	金額	分類	金額
戸別募金	255,990	被保護世帯	45,500
社協助成金	71,690	要保護世帯	10,000
		在宅身障者	4,000
		単身老人世帯	15,000
		母子(父)子世帯	37,500
		長期自宅療養者	66,000
		在宅精薄者	1,000
		長期入院患者	130,000
		印刷費	11,000
		送	1,680
計	327,680	計	327,680

忘れると大変です

国民年金の現況届はお早目に!!

国民年金の老令年金(通算老令年金を含む)の事務は、東京の社会保険庁で行われています。年金は皆さんが裁定請求の際に希望した金融機関を通して、年に四回(通算老令年金は二回)支払われます。

この年金の支払いは、社会保険庁が毎年みなさんの生存などを確認したうえで行なわれています。

みなさんが、年金を引き続いて受けるためには、年一回社会保険庁に、生存していることの証明を提出しなければなりません。このことを現況届(国民年金受給権者現況届)といいます。

現況届は、昭和五十三年二月十五日以前から年金を受けている人は、必ず提出する必要があります。現況届の用紙(ハガキ)は、一月

十五日頃までに、社会保険庁から受給者あて直接郵送されます。受給者のみなさんは、その用紙に住所、氏名を記入のうえ(押印を忘れず)市町村長の証明をうけて(証明料七十円必要)二月十五日までに必ず社会保険庁に提出して下さい。

なお、現況届が、期限まで提出されないと、引き続いて年金を支払ってよいかどうかの判断がつかせないので、届が提出されるまでの間、支払いを一時差し止められ

現況届を忘れると年金はストップされます



ることもあります。なわ用紙が届かない場合には、もよりの社会保険事務所へ備えてありますのでご利用下さい。

個人住宅建設資金の申込み受付を行っています

住宅金融公庫では、自分で住むための住宅を新築する方に対して個人住宅建設資金の申込み受付を次の要領により行っています。

●受付期間
昭和54年1月29日～2月28日

●選定方法
先着順により無抽選で選定

●融資額
木造住宅(80㎡以上)の場合三百六十万円～三百八十万円
ただし、老人(65才以上)又は

雪まつり三十周年
十日町市の雪まつり委員会では、雪まつり三十周年を記念して、記念写真集「白い愛の祭典―十日町雪まつり三十年」を発行しようとして準備をすすめています。

この写真集は、変型B5版、百三十ページで価格は二千円。発行にあたり予約受付を行っていますので、希望者は左記まで申し込んで下さい。

千九四八 十日町市千歳町三の三
三十日町市役所商工課内
十日町雪まつり委員会
電七―三二―一内線二四三三

●利率 年五・〇五%
●返済期間 木造の場合25年以内
●申込場所
住宅建設場所と同一県内の一住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関
詳しいことについては、住宅金融公庫北関東支店(電話〇二七二―三二―六六五五)又は公庫業務取扱金融機関にご相談下さい。